



新型コロナウイルス感染症予防対策 制作側確認表

作品名： _____

制作会社名： _____

ロケ撮影責任者名： _____ 連絡先： _____

一般社団法人ロケツーリズム協議会が定める「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に基づき、ロケ撮影に関して、以下の新型コロナウイルス感染症予防対策確認事項を報告します。

以下の確認事項について承諾が取れない場合には、地域・施設での撮影が許可されない場合があります。

1. 【ロケ地訪問前の確認事項】

- ロケツーリズム協議会が定める「撮影対応における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」の内容を確認済みである。
- 感染対策のための衛生管理者や医療関係者、もしくはそれらを担うチームや部署を設けている。
- 関係者(エキストラを含む)が撮影中に必要なマスク、手袋、消毒液、検温器具の準備ができています。
- 撮影予定期間、感染症状がある者、また陽性と判明した者との濃厚接触がある者、同居家族や知人の感染が疑われる者、過去14日以内に海外から帰国した者がスタッフ及び関係者にいない。
- 撮影関係者の緊急連絡先および撮影14日前までの行動記録をロケ責任者が確認できている。

2. 【ロケ地訪問時の確認事項】

- 訪問人数は最小限にする。
- 車輪移動は車内の換気を行いながら移動する。
- 宿泊を伴う場合は1人部屋を確保する。

3. 【撮影現場での確認事項】

- ロケツーリズムマニュアルにおける「撮影規約書」を事前提出済みである。
- 撮影関係者の検温結果・体調管理を毎日記録・保管・管理し、有事の際に即時提出できる状態を維持する。



- 撮影関係者に感染が疑われる者が発生した場合の対処法や連絡体制が整っている。
- 物理的・状況的に不可能な場合を除いて、社会的距離（2メートル）の確保を徹底する。
- ロケ地担当責任者は、地域及び施設の責任者と常に連絡がとれる。
- ロケ撮影以降14日間のロケ隊スタッフの様子を撮影責任者が後日ロケサポート責任者に報告する。
- 感染対策のための衛生管理者、医療関係者が定める予防対策を実施する。
- 屋内撮影では定期的な換気の実施、マスク着用の徹底、消毒液の設置を行う。
- マスク等の感染防止対策で出たのゴミをロケ地域や施設で廃棄せず必ず持ち帰る。
- 公共の場での撮影の際、通行人や見学者が密接しないよう配慮する。
- 撮影終了後はロケ地管理者と撤収最終確認をしたうえで、要請がある場合には対象箇所の消毒を実施する。

4. 【食事休憩時の確認事項】

- 全ての食事は表面の汚染を防ぐ方法を用い、個別にパッキングされたものを提供する。
- 食事を扱うスタッフは、事前に手洗いや手指消毒を済ませ、マスクと手袋を着用する。
- 食事休憩時間は2部制を図るなど、分散して行う様に調整する。
- 室内で飲食する際は距離を保ち、必要に応じてビニールカーテン等の設置対策を行う。

5. 【感染が疑われた際の連絡】

- 撮影スタッフの感染が疑われた場合、直ちに地域及び施設担当者へ報告する。
- 撮影関係者の感染が確認された場合、対応が終わるまで撮影を中断する。

以上